

大阪・関西万博 ESDプログラム 「ジュニアSDGs キャンプ」

2025年4月13日～10月13日に大阪・夢洲で開催する「大阪・関西万博」では、
若者・子どもがSDGsや環境問題について自ら主体的に考え、
行動・態度変容につながるESD実践の場を会場に設けます。

2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博) 概要



テーマ **いのち輝く未来社会のデザイン**

サブテーマ **Saving Lives (いのちを救う)**
Empowering Lives (いのち力を与える)
Connecting Lives (いのちをつなぐ)

コンセプト **People's Living Lab (未来社会の実験場)**

想定来場者数 **2,820万人 (うちインバウンド350万人)**



「ジュニアSDGsキャンプ」 会場イメージ



※ 会場は現在設計中でありデザイン等が変更になる場合があります。

大阪・関西万博のテーマ

「いのち輝く未来社会のデザイン」とSDGsに沿った、
若者・子ども向けプログラムを
実施します。

👉 くわしくは裏面をご覧ください!!

体験型プログラム

- 参加対象者 …… 小学生～高校生
- 参加者数 …… 40名/回
- 費用 …… 無料(大阪・関西万博の入場料は別途必要です)

環境問題、SDGsについて、博覧会協会、企業、NPO、大学ゼミ等が制作した体験型プログラムを実施します。プログラムの一部では、国際交流要素のあるものを実施します。
(例 事前学習→海外の方と議論・意見交換→事後学習)
各テーマについての情報をインプットするだけでなく、課題を自分の生活の中から見つける。そこから解決策を考え、自身の日常の行動や意識の変容につながる機会の創出を目指します。

(プログラムによって予約の有無などが異なります。日程についてはご相談に応じます。)

プログラムの例

Program example

海外の子どもたちと
環境問題について
議論しよう

キリバス編

海外の人と環境問題に
ついて議論しよう

インドネシア編

海外の人と環境問題に
ついて議論しよう

スイス編

発泡スチロールを通して
環境問題・SDGsを
考えよう

ごみ分別ボードゲーム
「Hokasu」で
ごみ・環境問題を
学ぼう!!

屋台でも使える?
リユース食器について
学ぼう

ペットボトルが
ペットボトルになって
戻ってくる?

二酸化炭素(CO₂)を
吸いこむ
コンクリート?

(プログラムは現在制作中で、変更になる場合があります。)

展示

会場内のパビリオン・施設の、環境・建築に関する見どころや、SDGs関連コンテンツに関するデジタル展示を行います。(予約不要)



ご関心のある方は
ぜひ担当までお問い合わせください!

お問い合わせ(連絡先)
2025年日本国際博覧会協会 企画局 持続可能性部
担当:仲秋(なかあき)、焔場(あきば)
E-mail: jizoku-kikaku@expo2025.or.jp





大阪・関西万博 ESDプログラム「ジュニアSDGsキャンプ」

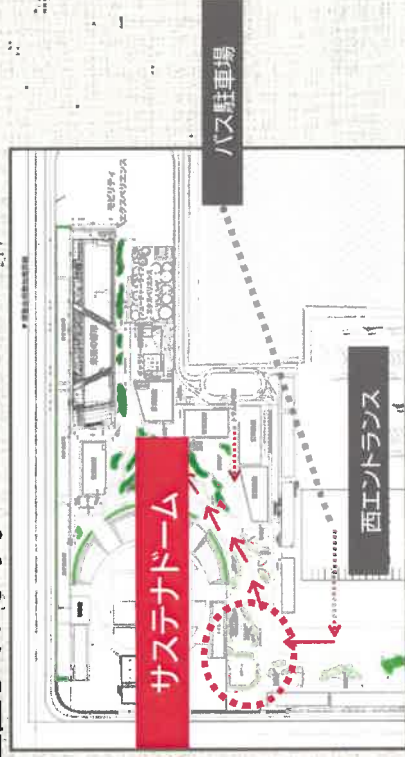


2025年4月13日～10月13日に大阪・夢洲で開催する「大阪・関西万博」では、若者・子どもがSDGsや環境問題について自ら主体的に考え、行動・態度変容につながるESD実践の場を会場に設けます

「ジュニアSDGsキャンプ」会場



ジュニアSDGsキャンプを実施するサステナドームは団体バスの来場者が入場する西エントランスの近くに位置しています。



展示、SNS連動企画

SDGs、環境問題に対する国、博覧会協会、協賛者等の取組に関するデジタル展示を実施。タッチパネルPC10台から自由にご覧いただけます。



会期前から、SNS連動企画を実施。学校での取組をSNSを通じて発信いただけます。



会場内ツアー



脱炭素や資源循環、建築など、テーマに沿ってガイドマップを作成。会場内でごらんいただけます。

また、会場内に設定するコースを周り、解説する1時間程度のツアーを実施します。

※マップに掲載の取組は予約不要の箇所です

コース例

「3R+Renewable」で
自らの未来を創造するデコ活ツアー



会場に実装された、脱炭素・資源循環に関する
取り組みについて見学

- ・3Rステーション(資源循環)
- ・サブスタックヤード(資源循環)
- ・リユース食器(資源循環)
- ・EVバス(脱炭素)
- ・給水スポット、マイボトル洗浄機(資源循環)

体験型プログラム

- 参加対象者 小学生～高校生
- 参加者数 40名/回
- 費用 無料

(大阪・関西万博の入場料は別途必要です)



環境問題、SDGsについて、博覧会協会、企業、NPO、大学ゼミ等が制作した

体験型プログラムを実施します。(学校・クラス単位での参加、個人での参加、予約の必要有無など、プログラムによって異なります。日程についてはご相談に応じます。)

博覧会協会が実施する環境技術に関するプログラムは事前学習の教材をご提供します。
一部プログラムは国際交流要素あり。

(例 事前学習→海外の方と議論・意見交換→事後学習)

ご関心のある方は
ぜひ担当までお問い合わせください。

お問い合わせ (連絡先)

2025年日本国際博覧会協会 企画局 持続可能性部

担当: 仲秋(なかあき)、畑場(あきば)

E-mail: jizoku-kikaku@expo2025.or.jp



(QRコードからメールを送れます)